

福岡大学図書館所蔵グリムコレクション

グリム兄弟、兄 Jacob Grimm (1785-1863)、弟 Wilhelm Grimm (1786-1859)、この二人が「グリム童話」の編纂を行い、また「グリム伝説集」の編者でもあります。兄はまた「ドイツ文法」を書いた言語学者であり、「ドイツ法古事誌」を書いた法学者でもあります。そして二人は「ドイツ語辞典」の編纂に着手し、兄 Jacob が書いた第4巻の Frucht の項が最後となりますが、その後多くの学者が辞典編纂を引き継ぎ、完結したのは123年後の1961年です。

本学図書館は、「『グリム童話集』第2版全3巻1819-1822年」、「『ドイツ伝説集』初版全2巻1816-1818年」、「『ドイツ法律古事誌』初版1828年」や「『ドイツ語辞典』全16巻32冊1854-1961年」などオリジナル資料を中心に、このようなスケールの大きい業績を残したグリム兄弟の業績のきわめて多くを所蔵しています。

公開している画像ファイルは、これらの蔵書からメルヒェンを中心に48点115冊を選んで、作品解題および童話の表現、内容をイメージ構成しています。グリム兄弟の生涯や研究、業績についての家系図や年譜なども作成していますので、画像を楽しみながらグリム兄弟コレクションを見ていただけたらと思います。

